

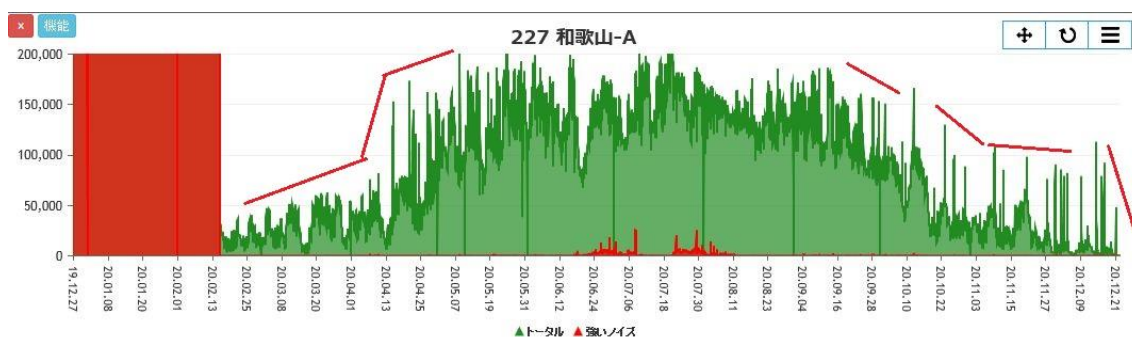
201221 和歌山-A と高知市介良の減衰—収束について

いままで何度か、長期に渡る和歌山-A のデータの減衰状況を逆ラジオ通信でもお伝えして2度ほど臨時メールを出しました。しかし今日現在、和歌山を中心とした大地震はまだ発生していません。しかしながら和歌山-A のデータは小さい上下を繰り返しながらも確実に減衰してきており、収束に近づいています。また逆ラジオ通信にも載せていますが和歌山の対岸にあたる四国の高知市の介良のデータが、呼応するように急な減衰を見せています。以下は本日12月21日段階の和歌山-A と高知市介良の減衰—収束の状況のグラフです。和歌山-A と高知市介良は共に長期の大型データであり、両方とも2回の、段階的な減衰を経てきており、この2つが同じ現象を捉えているとすると地震の規模はM7クラスも考えられると思われます。何度も言っていて申し訳ありませんがここ数日は十分な注意をしてください。

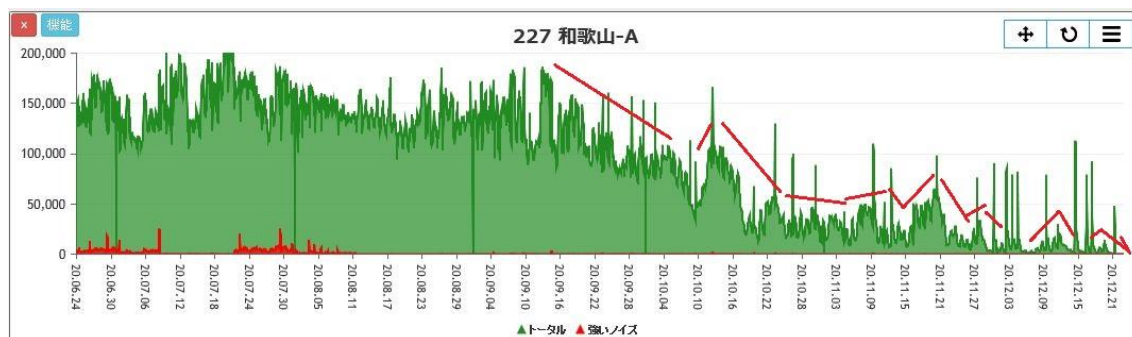
和歌山-A



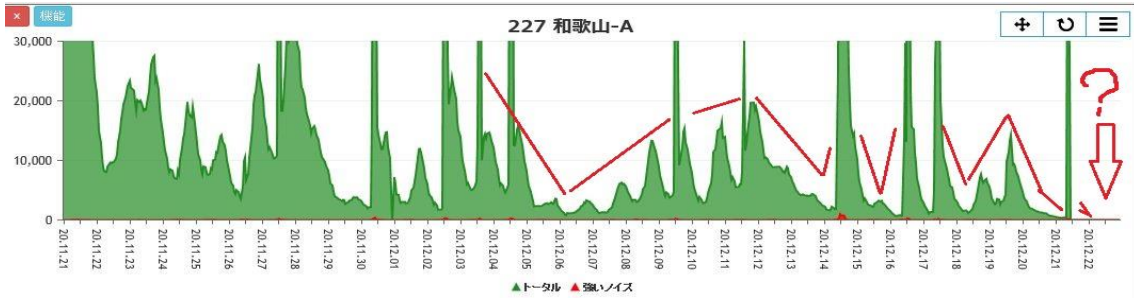
和歌山-A 360日データ



和歌山-A 90日データ



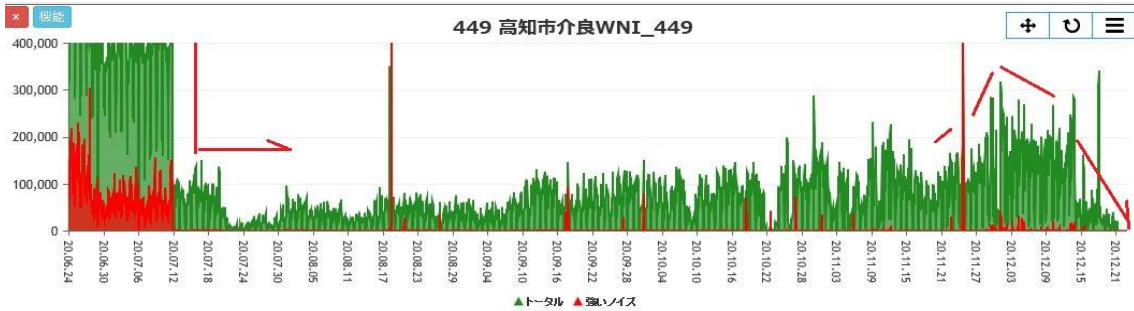
和歌山-A 30日データ



高知市介良



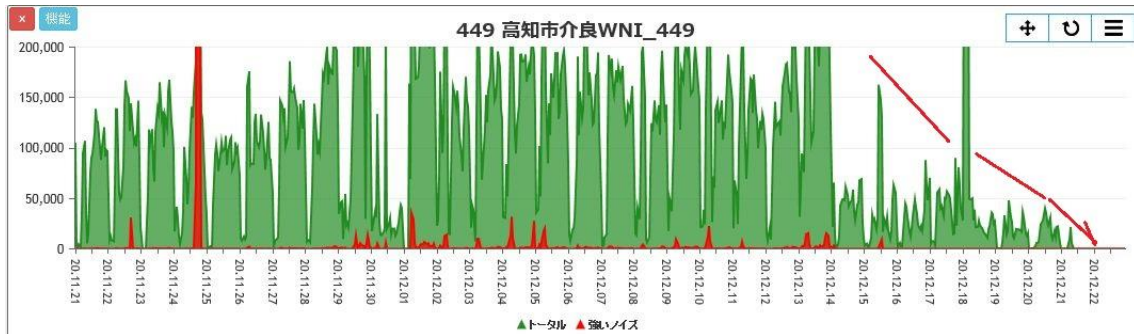
高知市介良 360日データ



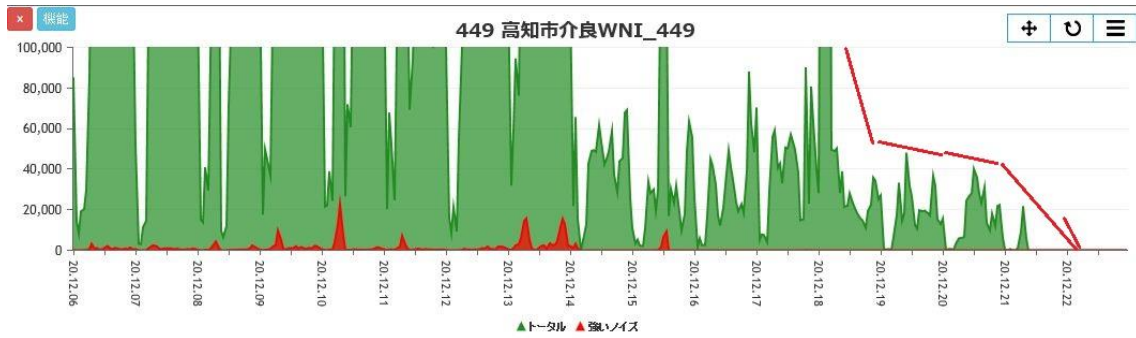
高知市介良 180日データ



高知市介良 60日データ



高知市介良 15日データ



位置関係：



参考：

2016年4月の高知市介良 (B449) のデータ > 4月14,16日熊本地震 M6.3, M7.0 発生

